

## 教 育 費

教育費の支出済額は、5,212,206,609円で、対前年度比833,427,241円、19.03パーセントの増で、歳出総額に対する構成比は8.21パーセントです。

教 10  
育  
費 款

# 10款 1項 1目 教育委員会費

## 教育委員会運営事業

(教育総務課)

決算事項別明細書 253 ページ

予算現額	4,218,000 円		決算額	3,824,500 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	393,500 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			4,027,396 円	地 方 債	
	増減額			△202,896 円	そ の 他	
	増減率	△5.04%	一 般 財 源	3,824,500 円		

### <目的>

狭山市の教育行政の根幹となる教育委員会を円滑に運営します。

### <内容>

教育委員の委員報酬・教育委員研修会等に対する費用弁償のほか、入間地区教育委員会連合会等の負担金を支出します。

### <実績・成果等>

#### 1 定例会開催状況

区 分	会 期	付 議 議 案
令和2年 第 4 回	4月24日	狭山市社会教育委員の委嘱について ほか8件
第 5 回	5月26日	令和2年度狭山市一般会計補正予算（第2号）-教育費 ほか1件
第 6 回	6月26日	狭山市立小・中学校管理規則の一部を改正する規則 ほか4件
第 7 回	7月27日	令和3年度使用中学校教科用図書採択について
第 8 回	8月21日	狭山市立学童保育室条例の一部を改正する条例 ほか5件
第 9 回	9月30日	令和3年度当初狭山市立小・中学校教職員人事異動方針及び令和3年度当初狭山市立小・中学校教職員人事異動方針細部事項について
第 10 回	10月23日	令和3年度当初市立幼稚園教諭人事異動の方針について
第 11 回	11月24日	狭山市立地域スポーツ施設及び狭山市立狭山台図書館の指定管理者の指定について ほか6件
第 12 回	12月22日	付議議案無し
令和3年 第 1 回	1月26日	付議議案無し
第 2 回	2月18日	令和2年度狭山市一般会計補正予算（第12号）-教育費 ほか4件
第 3 回	3月26日	狭山市教育委員会における申請書等の押印の省略に関する規則 ほか4件

#### 2 総合教育会議開催状況

区 分	会 期	協 議 事 項
令和2年 第 1 回	9月30日	第3次狭山市教育振興基本計画の策定について

# 10款 1項 2目 事務局費

## 奨学金貸与事業

(学務課)

決算事項別明細書 255 ページ

予算現額	14,016,000 円		決算額	6,872,080 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	7,143,920 円	決算額の 財源内訳		県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			9,801,441 円	地 方 債	
	増減額			△2,929,361 円	そ の 他	6,872,080 円
	増減率		△29.89%	一 般 財 源		

### <目的>

能力があるにもかかわらず、経済的な理由により修学が困難な方へ奨学金を貸与することにより、修学の機会を確保します。

### <内容>

経済的理由により大学などへの修学が困難な者に対して、入学一時金及び学資金を貸与します。

### <実績・成果等>

奨学金の貸与を受けた者の数

高 校 生	高等専門学校生	専 修 学 校 生	大 学 生	計
7 人 (3 人)	0 人 (0 人)	1 人 (0 人)	18 人 (1 人)	26 人 (4 人)

※( )内は本年度新規に貸与を受けた者の数

※制度創設以来の延べ人数は、高校生 162 人、専修学校生 87 人、大学生 439 人、高等専門学校生 2 人の合計 690 人となります。

# 10款 1項 3目 教育指導費

## 介助員（特別支援教育）配置事業

（教育指導課）

決算事項別明細書 257 ページ

予算現額	60,531,000 円		決算額	53,087,462 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	7,443,538 円			県 支 出 金	3,225,325 円	
前 年 度 比 較	決算額			40,740,719 円	地 方 債	
	増減額			12,346,743 円	そ の 他	
	増減率	30.31%	一 般 財 源	49,862,137 円		

### <目的>

教育上特別の支援を必要とする児童生徒の教育的ニーズに応えるため、一人一人の障害の状態に応じた教育内容や教育方法の充実を図ります。

### <内容>

介助員を配置して、障害のある児童生徒の介助を行うとともに、一人一人の障害に応じて効果的な学習活動上の介助を行います。

### <実績・成果等>

#### 1 本年度 介助員配置状況

区 分	対象学校	配置人数（延べ）	平均勤務日数
小 学 校	15 校	25 人	216.44 日
中 学 校	4	6	209.83

#### 2 介助の内訳

- (1) 通常の教育活動・学習活動における介助と支援
- (2) 校外学習、社会科見学、遠足等の学校外での教育活動における介助
- (3) 宿泊学習や修学旅行の引率に伴う介助（学校からの要請に応じて、必要と認める場合）
- (4) 第2土曜日における介助

#### 3 成果

- (1) 介助員は、担当する児童生徒との関わりを通じて徐々に人間関係を築き、一人一人の障害の状況を深く理解しながらきめ細かい介助を行っています。また、学級担任と児童生徒をつなぐ役割も担い、高い教育効果を上げています。
- (2) 介助員は、学級担任との連携を図りながら、基本的な生活習慣の確立のための生活上の介助、学習活動や教室移動に対する介助、児童生徒の健康・安全の確保、学校行事への参加に関する介助など、その活動は学校生活全般にわたり、児童生徒の心身に配慮した、安定した学級運営に寄与することができています。

# 10款 1項 3目 教育指導費

## 教育指導支援事業

(教育指導課)

決算事項別明細書 257 ページ

予算現額	92,321,000 円		決算額	89,126,844 円	
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	
不 用 額	3,194,156 円			県 支 出 金	24,990,959 円
前 年 度 比 較	決算額	52,920,934 円	一 般 財 源	地 方 債	
	増減額	36,205,910 円		そ の 他	1,523,350 円
	増減率	68.42%			62,612,535 円

### <目的>

教育内容を充実し、きめ細やかな教育を推進することにより、創造性に富み、心豊かな生きる力を持った児童生徒の育成を図ります。

### <内容>

小中学校にわくわく支援員やアシスタントティーチャー、学校図書館司書、スクール・サポート・スタッフなどを配置し、きめ細やかな教育活動を推進します。また、小中学校からの要請に応じて、教育センターに配置した非常勤講師を派遣し、教育活動の支援をします。本年度は、新型コロナウイルス禍の中、児童・生徒の学びの保障のため、臨時的に大幅に増員して職員の任用を行っています。

### <実績・成果等>

- わくわく支援員・アシスタントティーチャー  
わくわく支援員（延べ45人）は、小学校での様々なふれあい活動や個別支援をとおして、不登校や学級崩壊の予防、生徒指導の充実等に成果を上げています。  
アシスタントティーチャー（延べ25人）は、中学校でのチームティーチングによる授業や教員の指導を補助し、個別支援の充実に寄与しています。
- 派遣非常勤講師  
派遣非常勤講師（延べ12人）を、教育センターに配置し、教員が出張等で不在の場合に、校長からの要請に応じて各学校に派遣し、教育活動の支援を行っています。
- 発達障害・情緒障害通級指導教室指導員  
発達障害・情緒障害通級指導教室指導員（3人）、発達障害・情緒障害通級指導教室指導員指導者（1人）を、広瀬小学校と狭山台小学校と中央中学校に配置し、特別な教育的支援を必要とする児童生徒に応じた指導や支援、教員を補佐し、教育内容を充実させ成果を上げています。
- 小中学校代替教諭  
小中学校代替教諭（延べ28人）は、病休等による教員の不在時に、欠員補充のため小中学校に派遣し、計画的に学校教育を進めています。
- 学校図書館司書  
学校図書館司書（8人）を、全中学校に配置し、拠点校以外の担当小学校も定期的に訪問し、学校図書館担当教諭や図書ボランティアに指導助言をして、学校図書館運営の充実に寄与しています。
- スクール・サポート・スタッフ  
スクール・サポート・スタッフ（延べ15人）を、小中学校15校に配置し、教職員が児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備し、教師の負担軽減を図るため、学習プリントの印刷等や新型コロナウイルス感染症対策のための消毒作業などを行い、教職員の児童生徒に向き合う時間の確保に寄与しています。
- 狭山市教育委員会の附属機関として設置した「狭山市いじめ問題審議・調査委員会」の会議を開催し、いじめの防止等のための対策を実効的に行っています。

# 10款 1項 4目 教育センター費

## 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業

(教育センター)

決算事項別明細書 261 ページ

予算現額	19,778,000 円		決算額	10,791,026 円	
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	10,791,026 円
不 用 額	8,986,974 円			県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決算額			地 方 債	
	増減額			10,791,026 円	そ の 他
	増減率	皆増	一 般 財 源		

### <目的>

新型コロナウイルス感染症へ対応するため、早期のGIGAスクール構想に基づく1人1台端末の整備及び稼働を目指します。

### <内容>

児童生徒がパソコンを活用できる環境を整備するため、ネットワークの見直しを行い、市内小中学校23校に新たなインターネット回線を開設します。

また、導入した1人1台端末について、受け入れる学校側の環境を整備する必要が生じるため、運用マニュアルの作成等、学校現場での運用サポート等を行うためのGIGAスクールサポーターを各小中学校等へ配置します。

### <実績・成果等>

- 1 市内小中学校23校に新たなインターネット回線を開設し、ネットワーク環境を整備
- 2 スクールサポーターを市内小中学校23校に配置し、運用マニュアルの作成、充電保管庫の移動及びタイマー設定等、1人1台端末の環境を整備

# 10款 1項 4目 教育センター費

## 学力向上推進事業

(教育センター)

決算事項別明細書 261 ページ

予算現額	8,777,000 円		決算額	8,776,348 円	
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	7,000,000 円
不用額	652 円			県支出金	
前年度 比較	決算額	15,718,778 円	一般財源	地方債	
	増減額	△6,942,430 円		その他	1,400,000 円
	増減率	△44.17%			376,348 円

### <目的>

学校の授業以外で学習できる機会を設け、小中学生の学校の学習指導を補完するとともに家庭学習を習慣化し、学力向上を目指します。

### <内容>

- 1 学校の授業以外で学習できる機会を設け、中学生の学力の定着と家庭学習の習慣化を目指して「さやまっ子・茶レンジスクール」を実施します。長期休業中に、市内の中学校区ごとに指定された会場で、外部講師による集中講義を実施します。
- 2 学校の授業以外で学習できる機会を設け、小学生の学力の定着を図るために児童の学習を支援し、学習の仕方を身につけさせる「さやまっ子・茶レンジスクール」を実施します。市内全小学校で、平日、学力の差が出始める小学4年生の算数の集中講座を外部講師が行います。

### <実績・成果等>

#### 1 中学生対象「さやまっ子・茶レンジスクール」

- (1) 市内中学生 (8 中学校) の登録率 9.1 パーセント (令和元年度 11.7 パーセント)
- (2) 開催日数 延べ0回 (令和元年度 延べ219回)
- (3) 参加人数 延べ0人 (令和元年度 延べ1,393人)

※新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため、中止としました。

- (4) 集中講義開催日数 冬季 延べ24日 (令和元年度 延べ24日)

- (5) 集中講義参加人数 冬季 延べ667人 (令和元年度 延べ435人)

※新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため、夏季集中講義は中止としました。

#### 2 小学4年生対象「さやまっ子・茶レンジスクール」

- (1) 市内小学生 (15 小学校) の登録者数 247人 (令和元年度 226人)

- (2) 開催日数 延べ270回 (令和元年度延べ283回)

- (3) 参加人数 延べ4,054人 (令和元年度延べ3,796人)

- (4) 算数科の学習内容が身につけている児童の割合 (事前事後アンケートの結果において身に付いている・だいたい身に付いていると回答)
  - 平成2年9月 67パーセント
  - 令和3年2月 83パーセント

- (5) 算数科の勉強に自信がある児童の割合 (事前事後アンケートの結果において自信がある・だいたい自信があると回答)
  - 平成2年9月 50パーセント
  - 令和3年2月 72パーセント

# 10款 1項 4目 教育センター費

## 国際理解教育推進事業

(教育センター)

決算事項別明細書 261 ページ

予算現額	70,557,000 円		決算額	62,437,849 円	
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	
不 用 額	8,119,151 円			県 支 出 金	795,720 円
前 年 度 比 較	決算額			58,716,822 円	地 方 債
	増減額	3,721,027 円	そ の 他		
	増減率	6.34%	一 般 財 源	61,642,129 円	

### <目的>

早くから外国語や外国の文化に慣れ親しめる環境を作ることにより、コミュニケーション能力の素地を養うとともに、様々な連携を図る教育活動を通じて、小学校から中学校への英語教育の円滑な接続を実現し、英語教育及び国際理解教育の充実を目指します。

また、帰国・外国人児童生徒への支援を充実します。

### <内容>

小学校へ英語活動支援員を、小中学校へ語学指導助手を配置するとともに、各中学校区において小中連携教育を推進し、小学校から中学校への円滑な接続を図ります。

日本語指導員を学校に派遣し、帰国・外国人児童生徒の学習を支援します。

### <実績・成果等>

#### 1 英語活動支援員

小学校での英語活動の充実を図りました。

(1) 英語活動支援員（16人）を配置し、各担当小学校で担任とのチームティーチングを実施し、外国語早期教育の充実を図っています。

※ 英語に興味関心の高い児童の割合 86.6パーセント

(2) 英語活動支援員が、学級担任や英語専科教諭、語学指導助手と連携することで、より効果的な英語活動の授業の展開を図るとともに国際理解教育の充実を図っています。

#### 2 語学指導助手

小中学校での英語教育及び国際理解教育の充実を図りました。

(1) 令和2年度 英語検定3級相当以上の英語力を有する生徒の割合 58.0パーセント

(参考：国 44.0パーセント 県 45.8パーセント 令和元年度データ)

(2) 語学指導助手（11人）を配置し、小学校では学級担任や英語専科教諭と、中学校では英語科教諭とのチームティーチングを実施し、英語教育の充実を図っています。

※ 英語に興味関心の高い生徒の割合 67.9パーセント

※ 小学校での指導 年間1クラス平均 12.9時間

※ 中学校での指導 年間1クラス平均 33.5時間

(3) 語学指導助手は、幼稚園を訪問して、外国語や外国文化に早期から慣れ親しむ教育活動を充実させています。

※ 幼稚園への訪問 年間1クラス平均 2.6時間（令和2年度は2学期のみ実施）

# 10款 1項 4目 教育センター費

## 教職員研修事業

(教育センター)

決算事項別明細書 261 ページ

予算現額	225,000 円		決算額	40,000 円	
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	
不 用 額	185,000 円			県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決算額	142,000 円		地 方 債	
	増減額	△102,000 円		そ の 他	
	増減率	△71.83%	一 般 財 源	40,000 円	

### <目的>

教職員を対象とした研修の内容の充実により、資質・能力の向上を図ります。

### <内容>

学力向上、ICT活用、英語、人権、キャリア教育、特別支援教育、教育相談等を内容とする研修や講座を計画的に実施します。

### <実績・成果等>

研修項目	講座数	日 数	受講者数
悉 皆 研 修	13 講座	49 日	延べ 272 人
希 望 研 修	0	0	0
体 験 教 室	0	0	0
社 会 教 育	0	0	0
公 開 講 座	0	0	0
合 計	13	49	272

※悉皆研修の一部、希望研修、体験教室、社会教育及び公開講座については、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため、中止としました。

# 10款 1項 4目 教育センター費

## 教育相談事業

(教育センター)

決算事項別明細書 261 ページ

予算現額	37,409,000 円		決算額	36,154,762 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	647,712 円	
不 用 額	1,254,238 円			県 支 出 金	5,273,000 円	
前 年 度 比 較	決算額			32,147,243 円	地 方 債	
	増減額			4,007,519 円	そ の 他	113,300 円
	増減率	12.47%	一 般 財 源	30,120,750 円		

### <目的>

教育相談活動を行うことにより、いじめ、不登校、非行、問題行動、発達障害等の未然防止や早期対応を図ります。

### <内容>

教育センターに相談員を配置し、学校等と連絡をとりながら児童生徒や保護者、教職員からの相談に対応します。また、適応指導教室「けやき」を開設し、不登校児童生徒の学校復帰に向けた指導を行います。

また、就学支援委員・就学相談支援員は就学相談における各種知能検査を行い、結果報告書の作成、保護者への報告等、専門的分野での対応を行います。

各中学校にさやまっ子相談員、さやまっ子相談支援員、スクールカウンセラーを配置して、児童生徒や保護者、教職員の相談に対応します。

### <実績・成果等>

#### 電話相談内容別件数

い じ め	3 件
不 登 校	492
友 人 関 係	2
性 格 ・ 行 動	125
学 業 ・ 進 路	17
非 行	0
虐 待	0
学校との関係	16
家庭生活・子育て	4
そ の 他	7
計	666

#### 面接相談内容別件数

い じ め	0 件
不 登 校	841
友 人 関 係	0
性 格 ・ 行 動	133
学 業 ・ 進 路	10
非 行	0
虐 待	0
学校との関係	4
家庭生活・子育て	0
そ の 他	0
計	988

適応指導教室入級児童生徒数 9 人

# 10款 1項 4目 教育センター費

## 教育情報ネットワーク運用事業

(教育センター)

決算事項別明細書 261 ページ

予算現額	15,255,000 円		決算額	15,252,970 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	2,030 円			県支出金		
前年度 比 較	決算額	14,589,010 円		決算額の 財源内訳	地方債	
	増減額	663,960 円			その他	
	増減率	4.55%	一般財源		15,252,970 円	

### <目的>

教育情報ネットワークの継続的な安定運用により教育委員会と各学校を結ぶネットワーク環境の充実を図ります。

### <内容>

教育情報ネットワークシステム(以下、本システム)は、狭山市内小中学校及び狭山市教育委員会を結ぶシステムであり、本システムにより、各学校のパソコンからインターネットへのアクセスも可能になることから、安定した運用のもと活用を図ります。

### <実績・成果等>

- 1 教育情報環境のより一層の充実を図りました。
  - (1) 校務サーバーによる校内教育情報の管理
  - (2) 市内小中学校の教育情報の共有化 (共有情報をライブラリに保存し活用)
  - (3) ネットワークを活用した教職員同士のメール送受信
  - (4) センターサーバー方式による、個人情報等の一元管理
  - (5) 教育センターの施設利用予約
- 2 各小中学校のホームページを掲載して情報発信を促進しています。
- 3 回線網の定期点検により、安定運用を図っています。
- 4 回線網の活用のため、専門業者に委託して、ICT 支援員が各学校を巡回し、パソコンの活用を支援しています。

# 10款 2項 1目 学校管理費

## 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業

(教育総務課)

決算事項別明細書 265 ページ

予算現額	281,529,000 円		決算額	257,350,542 円	
翌年度繰越額	16,560,000 円	決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	257,350,542 円
不 用 額	7,618,458 円			県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決算額			地 方 債	
	増減額			257,350,542 円	そ の 他
	増減率	皆増	一 般 財 源		

### <目的>

新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、小学校の円滑な運営を図ります。

### <内容>

小学校における新型コロナウイルス感染症対策及びGIGAスクール構想に基づく学校 ICT 環境の整備を行います。

### <実績・成果等>

#### 1 新型コロナウイルス感染症対策

小学校の感染症対策を講じるとともに、児童の学びを保障するための取組に必要な物品を購入しました。

- ・ 消耗品費（アルコール消毒液、石鹸、使い捨て手袋、加湿器など） 23,925,216 円
- ・ 備品購入費（AI 検温器、パーティション、小学校図書館管理用ソフトウェアなど） 8,737,168 円

#### 2 GIGA スクール構想に基づく学校 ICT 環境の整備

GIGA スクール構想に基づき、児童 1 人 1 台の情報端末の整備を行いました。

- ・ 児童学習用端末等購入 2,223 台 210,418,065 円  
リース分 4,447 台と合わせて合計 6,670 台を整備しました。

- ・ 教師用ソフトウェアライセンス購入 163 台分 6,365,150 円  
リース契約中の教育用情報端末（328 台）を教師用 GIGA スクール端末に転用するにあたり、児童・生徒用と同一のソフトウェアライセンスを購入しました。（小学校 163 台分・中学校 165 台分）

- ・ Web カメラ購入（各小学校に 3 個整備） 643,500 円

#### 3 その他

- ・ 児童への情報端末貸出に伴うモバイルルーター賃貸借料（210 台分 通信回線料含む） 1,111,341 円

# 10款 2項 1目 学校管理費

## 小学校教育用コンピュータ機器整備事業

(教育総務課)

決算事項別明細書 265 ページ

予算現額	90,290,000 円		決算額	89,880,814 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	7,893,706 円	
不 用 額	409,186 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			78,867,748 円	地 方 債	
	増減額			11,013,066 円	そ の 他	
	増減率	13.96%	一 般 財 源	81,987,108 円		

### <目的>

ICT 活用力の育成のため環境を整備します。

### <内容>

児童がコンピュータなどの ICT 機器を活用した学習ができる環境を整備します。

### <実績・成果等>

- GIGA スクール構想に基づき、児童 1 人 1 台の情報端末の整備を行いました。
  - 児童学習用端末等借上料 (4,447 台) 7,893,706 円 (令和 3 年 2 月～)  
(5 年間総額 236,811,180 円)

購入分 2,223 台と合わせて合計 6,670 台を整備しました。

- 教育用・校務用コンピュータ機器等を継続的、安定的に活用できるように、ICT 環境の整備を図りました。

- 教育用コンピュータ機器等借上料 51,313,176 円  
各小学校 40 台
- 校務用コンピュータ機器等借上料 29,973,108 円
- 周辺機器等借上料 700,824 円

# 10款 2項 2目 教育振興費

## 小学校就学援助事業

(学務課)

決算事項別明細書 265 ページ

予算現額	72,616,000 円		決算額	64,505,812 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	2,099,882 円	
不 用 額	8,110,188 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			54,016,501 円	地 方 債	
	増減額			10,489,311 円	そ の 他	
	増減率	19.42%	一 般 財 源	62,405,930 円		

### <目的>

低所得世帯の児童の保護者に対して、経済的負担の軽減を図ります。

### <内容>

経済的な理由で、学用品の購入や給食費の支払などに困窮している小学生の保護者に対して、経済的援助を実施します。

また、本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、家計が急変した世帯に、就学援助認定基準に特例を設け就学援助費を支給し、小学校が休業中は、学校給食費に替えて食費支援給付費を支給します。

### <実績・成果等>

- 要保護児童1人、準要保護児童延べ884人に対して、学用品費等を支給しました。  

就学援助費		57,799,246 円
(うち特別支援教育就学奨励費	92 人	2,802,940 円)
- コロナに負けない！特例就学援助費 30 人 994,882 円
- 食費支援給付費 (4月・5月分) 688 人 5,708,250 円

# 10款 2項 3目 学童保育室費

## 公立学童保育室管理事業

(学務課)

決算事項別明細書 267 ページ

予算現額	331,325,000円		決算額	297,305,851円	
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	88,390,641円
不用額	34,019,149円			県支出金	65,048,516円
前年度 比較	決算額	293,872,912円		地方債	
	増減額	3,432,939円		その他	61,041,515円
	増減率	1.17%	一般財源	82,825,179円	

### <目的>

保護者の就労等により家庭において保育に欠ける児童の健全な育成を図ります。

### <内容>

公立学童保育室の管理・運営を行い、放課後等における児童の遊びや生活の場を提供します。

### <実績・成果等>

区分	入間川小	入間川東小第一	入間川東小第二	富士見小第一	富士見小第二	南小第一	南小第二	山王小	入間野小第一	入間野小第二	御狩場小	
入室者数	年間延べ人数	649	449	436	610	325	623	337	921	473	477	580
	月平均	54	37	36	51	27	52	28	77	39	40	48

区分	堀兼小	狭山台小第一	狭山台小第二	新狭山小第一	新狭山小第二	奥富	柏原小第一	柏原小第二	水富小第一	水富小第二	広瀬小	
入室者数	年間延べ人数	401	390	375	480	461	575	564	431	332	336	456
	月平均	33	33	31	40	38	48	47	36	28	28	38

区分	笹井小	入間川東小・富士見小分室	広瀬小分室	計	
入室者数	年間延べ人数	447	274	246	11,648
	月平均	37	23	21	970

# 10款 2項 3目 学童保育室費

## 学童保育室改修整備事業

(学務課)

決算事項別明細書 269 ページ

予算現額	25,520,000 円		決算額	24,467,843 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	9,384,000 円	
不 用 額	1,052,157 円			県 支 出 金	2,346,000 円	
前 年 度 比 較	決算額			1,054,480 円	地 方 債	
	増減額			23,413,363 円	そ の 他	5,143,415 円
	増減率	2,220.37%	一 般 財 源	7,594,428 円		

### <目的>

待機児童の解消をします。

### <内容>

入室児童数の増大などに対応するため、学童保育室を整備拡充します。

### <実績・成果等>

新狭山小学童保育室増築工事設計業務委託	2,915,000 円
新狭山小第二学童保育室増築工事	19,910,000 円
新狭山小第二学童保育室増築に伴うロッカー等設置工事	704,000 円
新狭山小学童保育室地籍測量及び分筆登記手数料	909,143 円
新狭山小学童保育室書棚購入	29,700 円

# 10款 2項 4目 学校施設整備費

## 小学校校舎等改修事業

(教育総務課)

決算事項別明細書 269 ページ

予算現額	669,300,000円		決算額	527,647,619円		
翌年度繰越額	90,306,000円	決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	154,667,000円	
不 用 額	51,346,381円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			306,784,434円	地 方 債	311,500,000円
	増減額			220,863,185円	そ の 他	12,000,000円
	増減率	71.99%	一 般 財 源	49,480,619円		

### <目的>

経年劣化した建物を更新し、建物寿命を延ばすことにより安全安心な小学校にします。

### <内容>

老朽化した校舎等の建物維持や改造及び、給排水・電気などの更新を行う改修設計及び工事を計画的に行います。

### <実績・成果等>

1 文部科学省の GIGA スクール構想に基づき、全小学校に高速大容量の通信ネットワークを整備するため、次の業務委託及び工事を実施しました。

- |                           |              |
|---------------------------|--------------|
| (1) 小学校校内 LAN 無線化工事修正設計委託 | 1,496,000円   |
| (2) 小学校校内 LAN 無線化工事       | 253,407,769円 |

2 児童用トイレ1系統の改修として、次の業務委託及び工事を実施しました。

- |                       |             |
|-----------------------|-------------|
| (1) 御狩場小学校トイレ改修工事監理委託 | 1,173,334円  |
| (2) 柏原小学校トイレ改修工事監理委託  | 1,173,333円  |
| (3) 笹井小学校トイレ改修工事監理委託  | 1,173,333円  |
| (4) 入間川小学校トイレ改修工事     | 33,524,954円 |
| (5) 御狩場小学校トイレ改修工事     | 56,320,000円 |
| (6) 狭山台小学校トイレ改修工事     | 64,342,046円 |
| (7) 柏原小学校トイレ改修工事      | 34,046,907円 |
| (8) 笹井小学校トイレ改修工事      | 46,885,593円 |

3 職員トイレの改修として、次の業務委託及び工事を実施しました。

- |                         |             |
|-------------------------|-------------|
| (1) 入間川小学校職員トイレ改修工事設計委託 | 825,000円    |
| (2) 御狩場小学校職員トイレ改修工事設計委託 | 825,000円    |
| (3) 山王小学校職員トイレ改修工事設計委託  | 825,000円    |
| (4) 水富小学校職員トイレ改修工事設計委託  | 825,000円    |
| (5) 奥富小学校職員トイレ改修工事設計委託  | 825,000円    |
| (6) 笹井小学校職員トイレ改修工事設計委託  | 825,000円    |
| (7) 柏原小学校職員トイレ改修工事設計委託  | 825,000円    |
| (8) 狭山台小学校職員トイレ改修工事設計委託 | 825,000円    |
| (9) 入間川小学校職員トイレ改修工事     | 13,733,624円 |
| (10) 御狩場小学校職員トイレ改修工事    | 13,766,376円 |

# 10款 3項 1目 学校管理費

## 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業

(教育総務課)

決算事項別明細書 273 ページ

予算現額	146,473,000 円		決算額	133,548,601 円	
翌年度繰越額	9,000,000 円	決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	133,548,601 円
不 用 額	3,924,399 円			県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決算額			地 方 債	
	増減額			133,548,601 円	そ の 他
	増減率	皆増	一 般 財 源		

### <目的>

新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、中学校の円滑な運営を図ります。

### <内容>

中学校における新型コロナウイルス感染症対策及びGIGA スクール構想に基づく学校 ICT 環境の整備を行います。

### <実績・成果等>

#### 1 新型コロナウイルス感染症対策

中学校の感染症対策を講じるとともに、生徒の学びを保障するための取組に必要な物品を購入しました。

- ・ 消耗品費 (アルコール消毒液、石鹸、使い捨て手袋、加湿器など) 14,682,163 円
- ・ 備品購入費 (顔認識体温測定器、デジタルカメラなど) 2,211,550 円

#### 2 GIGA スクール構想に基づく学校 ICT 環境

GIGA スクール構想に基づき、生徒 1 人 1 台の情報端末の整備を行いました。

- ・ 生徒学習用端末等購入 1,124 台 106,392,220 円  
リース分 2,249 台と合わせて合計 3,373 台を整備しました。

- ・ 教師用ソフトウェアライセンス購入 165 台分 6,443,250 円  
リース契約中の教育用情報端末 (328 台) を教師用 GIGA スクール端末に転用するにあたり、児童・生徒用と同一のソフトウェアライセンスを購入しました。(小学校 163 台分・中学校 165 台分)

- ・ Web カメラ購入 (各中学校に 3 個整備) 343,200 円

#### 3 その他

- ・ 生徒への情報端末貸出に伴う設定変更委託料 (328 台分) 880,000 円
- ・ 生徒への情報端末貸出に伴うモバイルルーター賃貸借料 (110 台分 通信回線料含む) 582,131 円

# 10款 3項 1目 学校管理費

## 中学校教育用コンピュータ機器整備事業

(教育総務課)

決算事項別明細書 275 ページ

予算現額	62,529,000 円		決算額	60,439,430 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	1,996,058 円	
不 用 額	2,089,570 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			27,403,227 円	地 方 債	
	増減額			33,036,203 円	そ の 他	
	増減率	120.56%	一 般 財 源	58,443,372 円		

### <目的>

ICT 活用力の育成のため環境を整備します。

### <内容>

生徒がコンピュータなどの ICT 機器を活用した学習ができる環境を整備します。

### <実績・成果等>

- GIGA スクール構想に基づき、生徒 1 人 1 台の情報端末の整備を行いました。
  - 生徒学習用端末等借上料 (2,249 台) 1,996,058 円 (令和 3 年 3 月～)  
(5 年間総額 119,763,480 円)

購入分 1,124 台と合わせて合計 3,373 台を整備しました。
- 教育用・校務用コンピュータ機器等を継続的、安定的に活用できるように、ICT 環境の整備を図りました。
  - 教育用コンピュータ機器等借上料 39,193,440 円  
各中学校 80 台
  - 校務用コンピュータ機器等借上料 18,971,100 円
  - 周辺機器等借上料 278,832 円

# 10款 3項 2目 教育振興費

## 中学校就学援助事業

(学務課)

決算事項別明細書 275 ページ

予算現額	73,380,000 円		決算額	64,755,853 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	1,585,862 円	
不 用 額	8,624,147 円			県 支 出 金	432,000 円	
前 年 度 比 較	決算額			59,430,288 円	地 方 債	
	増減額			5,325,565 円	そ の 他	
	増減率	8.96%	一 般 財 源	62,737,991 円		

### <目的>

低所得世帯の生徒の保護者に対して、経済的負担の軽減を図ります。

### <内容>

経済的な理由で、学用品の購入や給食費の支払などに困窮している小学生の保護者に対して、経済的援助を実施します。

また、本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、家計が急変した世帯に、就学援助認定基準に特例を設け就学援助費を支給し、中学校が休業中は、学校給食費に替えて食費支援給付費を支給します。

### <実績・成果等>

- 要保護児童3人、準要保護児童延べ551人に対して、学用品費等を支給しました。  

就学援助費		59,354,425 円
（うち東日本大震災被災生徒就学援助費	4 人	432,983 円）
（うち特別支援教育就学奨励費	47 人	2,292,897 円）
- コロナに負けない！特例就学援助費 14 人 727,862 円
- 食費支援給付費（4月・5月分） 469 人 4,670,000 円

# 10款 3項 3目 学校施設整備費

## 中学校校舎等改修事業

(教育総務課)

決算事項別明細書 275 ページ

予算現額	367,150,000 円		決算額	159,313,645 円	
翌年度繰越額	200,310,000 円	決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	40,778,000 円
不 用 額	7,526,355 円			県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決算額			地 方 債	76,400,000 円
	増減額			159,313,645 円	そ の 他
	増減率	皆増	一 般 財 源	35,135,645 円	

### <目的>

経年劣化した建物を更新し、建物寿命を延ばすことにより安全安心な中学校にします。

### <内容>

老朽化した校舎等の建物維持や改造及び、給排水・電気などの更新を行う改修設計及び工事を計画的に行います。

### <実績・成果等>

1 文部科学省の GIGA スクール構想に基づき、全中学校に高速大容量の通信ネットワークを整備するため、次の業務委託及び工事を実施しました。

- |                           |               |
|---------------------------|---------------|
| (1) 中学校校内 LAN 無線化工事修正設計委託 | 594,000 円     |
| (2) 中学校校内 LAN 無線化工事       | 152,537,645 円 |

2 令和3年度の生徒用トイレ1系統の改修に向けて、次の業務委託を実施しました。

- |                       |             |
|-----------------------|-------------|
| (1) 西中学校トイレ改修工事設計委託   | 1,567,500 円 |
| (2) 堀兼中学校トイレ改修工事設計委託  | 1,523,500 円 |
| (3) 中央中学校トイレ改修工事設計委託  | 1,523,500 円 |
| (4) 入間川中学校トイレ改修工事設計委託 | 1,567,500 円 |

# 10款 4項 1目 幼稚園費

## 私立幼稚園支援事業

(保育幼稚園課)

決算事項別明細書 279 ページ

予算現額	5,546,000 円		決算額	5,536,060 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不用額	9,940 円			県支出金		
前年度 比較	決算額			5,528,010 円	地方債	
	増減額			8,050 円	その他	
	増減率	0.15%	一般財源	5,536,060 円		

### <目的>

市内の私立幼稚園の園児の心身の健全な発達を支援します。

### <内容>

市内の私立幼稚園に対して、教育条件の維持及び向上を図ることを目的とした助成金を交付するとともに、市内の私立幼稚園及び公立幼稚園で構成される団体に対して、幼稚園児の健全な心身の発達に資することを目的とした補助金を支給します。

また、特別支援の充実と振興を図るため、心身障害児に対する補助教員を配置している幼稚園に対して、補助金を支給します。

### <実績・成果等>

#### 1 私立幼稚園振興助成金

目的：私立幼稚園等の教育条件の維持及び向上を図るための助成金

対象施設 9 園

対象園児数 計 1,222 人

助成対象経費（抜粋） 園医・薬剤師手当、教職員研修費、遊具等の購入・修繕の一部

#### 2 幼稚園児育成事業費補助金

目的：幼稚園児の健全な心身の発達に資することを目的とした補助金

市内幼稚園 11 カ所において、観劇会を実施

#### 3 私立幼稚園特別支援教育費補助金

目的：心身に障害等のある幼児の私立幼稚園等への就園を促進するため、心身障害児に対する補助教員を配置している幼稚園への補助金

対象施設 6 園

対象園児数 計 18 人